



高ちゃん つうしん

2004.8 No. 9



大山たか子通信

市議会：☎ 087(839) 2831
自宅：☎ 087(888) 3272
Eメール：takachan@mxi.netwave.or.jp

~~~~~ 今月の高ちゃんつうしんは両面です。~~~~~



## 連日の猛暑の中、献身的なご支援、心より感謝と御礼申し上げます！

この度の参議院選挙におきましては、公明党として、必勝を期した埼玉、東京、大阪の3選挙区で見事完勝。比例区では過去最高の得票数（862万票）で8人が当選し、合計11議席を獲得することが出来、定数5減の中で、改選議席を1議席上回る大勝利を勝ち取ることができました。本当にありがとうございました。心より感謝と御礼申し上げます！

わが党に寄せられました皆様のご期待にお応えする為に、多彩な民意の受け皿となる公明党として、選挙戦で約束した政策実現に、私達地方議員もしっかり連携をとって、全力で取り組んでまいりますので、今後とも尚一層のご支援とご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。



### \*\*\* 6月度議会報告 \*\*\*

6月定例会議で3回目の一般質問をしました。

#### 答 弁



#### 質問内容

- ①児童のインフルエンザ予防接種について、就学前児童への予防接種の半額助成実施、また、高松医師会と連携をとり、出来る限り多くの病院で土曜日でも予防接種が出来る体制をつくる。  
②妊婦一般健診受診票の枚数追加と。また、県外出産をされる方にも、受診票4枚全てが使用可能にすること。
- 「食育」について子どもの食の危機的状況問題①肥満②欠食③孤食についてどう思うか、また解決のため、子どもの健全育成の観点等から具体的な取り組みについての目標ときめ細かなアドバイスが必要。高松市として、学校、保育所、保健センターでの現状の具体的な食育推進状況。また、食育の推進委員会等を設置するなどして市全体で具体的な推進を行うことについて。
- 「特色ある学校づくり」「開かれた学校」を積極的に進めていくためには、教育長と学校長のお互いの意思の疎通を図ることが重要であることについて。また、厳しい教育現場を如何にして改善し、特色ある学校づくり、開かれた学校にしていくか、その為にも教員の意識改革、資質向上を図るための具体的な進め方について。また、教師こそ最大の教育環境といわれる趣旨から、教員の「さわやか笑顔推進運動」を図る考えについて。

現在、国において、小児へのインフルエンザ予防接種の有効性や安全性について研究が行われており、助成については、研究結果に基づく国の対応や、他都市の状況を踏まえ研究していく。土曜日での予防接種が出来る体制づくりの拡大に向け、高松医師会とも協議していく。受診票の追加については、現在のところ考えていないが、妊婦を対象にした教室の開催や訪問指導の充実を図りながら、安心して出産・育児が出来る環境づくりに努めていく。県外出産での受診票を使用可能にすることは、今後必要な場合には、県外でも使用できるよう検討していく。（市長）

肥満の早期発見と生活習慣の改善について適切な指導が必要であると考えます。欠食や孤食については、朝食の重要性や適切な食事のとり方など、食生活に関する指導をより推進する必要がある。また、学校での食育推進状況は、学校栄養職員や養護教諭等が連携を図り、給食献立の食材や栄養師などについて指導するとともに、家庭科・保健体育などの教科や総合学習の時間に、食に関する内容についての指導を行っている。（教育長）

保育所・保健センターでの食育推進状況は、保護者には給食便り等により、食事の大切さや生活習慣病予防等の啓発をする他、調理員、保育士、栄養士の連携で乳幼児期における食の重要性や食事に対する知識、技術の指導をしている。幼児に対しては、食事の意味がわかり、楽しんで食事がとれるよう心がけている。（抜粋：部長）

今後、食育推進委員会等の設置も含め、市全体で具体的な推進について、検討していく。（市長）

校長との意思の疎通を図ることは、重要であると認識している。今後、不登校等の課題別研修や事例研究研修などの教員研修を通して教員の意識改革、資質向上に継続して取り組んでいく。

各学校のあいさつ運動の中で、その趣旨をいかしていきたい。（教育長）





## 待望の市民病院での女性専門外来が、8月4日より開設されました。

女性専門外来とは・・・女性の身体や心を女性医師が診察するもので、性差を考慮した一人一人への最適化医療であり、心と体を総合的に診る全人的な医療です。具体的には、完全予約制で初診については、一人30分程度の診察時間で、悩みや生活習慣など患者の話をじっくり聞いて原因を探っていく。診断後は、引き続き外来の医師が治療まで実施するか、必要に応じて専門医を紹介し、個々に応じた適切な治療を行うものです。

診療場所：市民病院2階 女性専門外来（内科診察室）

診療日時：毎週水曜日 午後1時～午後5時（休日、祝日を除く）

担当医師：加藤みどり（内科）渡邊球美（精神神経科）が交代で担当

予約方法：電話による完全予約制 受付時間：月曜日～金曜日午後1時～4時

お問い合わせ及び予約申し込み先：高松市民病院 女性専門外来 ☎087-834-2181（内線207）



## 高松市特定不妊治療費助成事業が開始されました！

### 1. 助成対象者（次の要件を全て満たす方）

- 体外受精及び顕微授精以外の治療法では、妊娠が望めないと医師が診断していること
- 本人及びその配偶者は、高松市に住所があること  
（ただし、配偶者については単身赴任等の特別の事情がある場合はこの限りではありませんので、ご相談ください。）
- 法律上の夫婦であること
- 高松市が指定した医療機関での体外受精・顕微授精（特定不妊治療）であること
- ご夫婦の所得の合計が650万円未満であること
- 高松市の市税を滞納していないこと



香川県立中央病院女性専門外来視察

### 2. 助成の内容

- 指定医療機関で、平成16年4月1日以降に開始した体外受精及び顕微授精に要した費用（入院費や食事代など治療に直接関係のない費用は含まれません。）に対し、1年度あたり10万円を限度として、通算2年間助成します。

### 3. 申請の方法

申請は、治療が終了したら速やかに高松市保健センターで行ってください。

#### 提出書類

- 高松市特定不妊治療費助成事業申請書
- 高松市特定不妊治療費助成事業受診等証明書
- 法律上の婚姻関係にあることを証明する書類（続柄記載の住民票等）
- 夫および妻の所得を証明する書類（市納税課発行の所得・控除額の記載された証明書）
- 特定不妊治療を行ったことを証する医療機関の発行した領収書

### 4. 指定医療機関

- 体外受精・顕微授精  
恵生産婦人科病院・高松市民病院・厚仁病院
- 体外受精  
香川県立中央病院・香川大学医学部付属病院  
安藤レディースクリニック

### 5. お問い合わせ先

高松市保健センター ☎087-839-2363

## お知らせコーナー



### 法律無料相談の日

- ▼ 公明党県本部（815-2206）  
9月 1日（水）13時30分から  
9月22日（水）13時30分から

- ▼ 高松市法律相談の日（839-2111）  
毎週火曜日  
（ただし、高松市民のみになっています）

＊いずれも要予約ですので、ご一報下さい。



この二つの事業はどちらも公明党が強力に推進してきたので、それぞれの地方議員との連携で民意を政策に実現したものです。